

2020.3月号

令和2年3月15日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0025
東広島市西条中央 7-17-35-101
電話 082-422-4115
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

広島移動ネット勉強会「生活交通を考える」

陽だまりクラブ

訪問介護 / こどもくらぶ

事務局日より

生活交通を考える～住民主体の移動・外出支援の作り方～

広島県移動サービスネットワーク勉強会の報告



1月25日(土)、移動をテーマにした勉強会を開催しました。会場は広島市東区民文化センターで、自治体や社会福祉協議会、住民組織などから63人の参加がありました。公共交通の縮小や撤退で困っている地域はたくさんあります。打開策を求めて、法的な位置づけ、広島県の現状、先進事例を学びました。講演資料とアンケート結果は、[陽だまりのホームページ \(www.npo-hidamari.or.jp\)](http://www.npo-hidamari.or.jp)に掲載しています。

移動サービスに関する制度と今後の展望～広島運輸支局～



今岡俊之氏

2017年6月、高齢者の移動手段確保のために、国土交通省が6つの具体的方策

を提案しました。その中に、「自家用有償運送の活用」と「道路運送法の許可・登録を要しない輸送（無償輸送）の明確化」があります。具体的には、自家用車での有償運送では細かいルールが少し緩和され、無償輸送では無償の定義を明確にするなど、**住民が取り組みやすいようにルールが整理**されました。今後は、国の「成長戦略実行計画」に基づき、交通事業者が協力する自家用有償旅客運送制度の創設と、交通空白地明確化のためのガイドライン策定が進められる予定です。



総合事業の訪問型サービスについて～広島県高齢者支援課～



塩田真麻氏

介護保険制度の改正により、住民主体の「訪問型サービスB」、移動支援の「訪問型サービスD」が創設されました。しかし、全国的にも両サービスの実施は伸びておらず、**広島県は訪問型サービスDがゼロ**です。原因として制度が複雑であること、行政として多部署で推進する必要があること等が考えられます。**県としては、普及を行っていきたい**と考えています。

移動支援型サービス「おのりんカー」～兵庫県小野市社協～

2019年10月から、通院送迎のお手伝いを開始しました。高齢者の家事支援



窪口真吾氏

を行う「**介護ファミリーサポート**」と訪問型サービスDが**一体となった形**で運営され、市から補助金が出ています。この移動サービスは住民の声を社会福祉協議会の地域支援コーディネーターが拾い、第1層協議会上げたのがきっかけで生まれました。2020年度は、送迎範囲を市外へ拡大し、対象者も拡大しました。



広島県移動サービスネットワーク移動サービスに取り組んでいる団体で構成。事務局はNPO法人陽だまり。

陽だまりクラブ活動者研修



1月21日(火)、雪の心配がいらぬほど温かい今年の冬。そんな中、年に1回の活動者研修を開催しました。今回の研修のメインテーマは「不安を解消して楽しく活動しよう!」です。活動中に起こりがち、または緊急時の「困った」をいくつかの事例を挙げて説明しました。その後はグループワークにて、活動して不安や疑問に思うことを『知って知ってシート』なるものに記入してもらいました。気にはなっていたけれど今まで聞けなかったこと、聞くまでもないとは思っていたけれどこの際聞いておこうと思ったこと。事務局側が答えられるものもありましたが、他の活動者からのアドバイスやアイデアなどもあり、とても有意義な時間が過ごせました。最後は参加者みんなでランチ会です!久しぶりに会う活動者もいて、話に花が咲きます♪これからも、元気で生き生き活動ができるようにお手伝いしていきます!(^^)!



(報告: 山口百合)



活動紹介 ~こんな活動もできるんだ編~

陽だまりに、なじみの利用者の方から1本の電話が入りました。お一人暮らしで80代の女性の方からのご依頼です。新しい電化製品ノンフライヤー(油を使わずに揚げ物ができる家電)を買ったのだけれど使い方がよくわからないから、説明書を読んでわかりやすく教えてくれる人はいないだろうか、という今までになかった内容のご依頼でした。説明書を読むことが苦にならず、わかりやすく丁寧に手順をお伝えできる活動者…。あ!!あの方はどうだろうか!!私の頭に一人の活動者の方が思い浮かびました。依頼された方のところにはまだ一度も行ったことがないけれど、いつも利

用者の方に寄り添った活動をされる方です。その活動者にすぐに連絡をしたところ、「いいですよ、とりあえず行ってみますね!」という快いお返事をいただき、活動成立となりました。

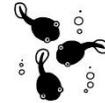
活動の翌日、利用者の方からお電話が入りました。「〇〇さん(活動者)が来てくれて、説明書をしっかりと読んで、丁寧に説明をしてくれました。それから、わかりやすく操作手順を紙に書いてくれて。今日、一人でその手順を書いた紙を見ながらやってみたら、とってもおいしく上手に焼けました。」と、嬉しい報告をいただきました。利用者さんのこんな声を聞けたときには、私までとても嬉しい気持ちになります。

こんなことやってもらえるだろうか? と思っている方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご相談ください。素敵な出会いと、ご縁が結ばれるようにコーディネートいたします。

(報告: 山口百合)



新活動者紹介



- ①陽だまりに入ったきっかけ
- ②趣味・特技
- ③一言

木村 泰子さん

60代 女性

☆大人数のご飯づくりもお手のもの!笑顔の素敵な明るい方です!

- ① 友人の紹介
- ② 料理・カラオケ・手話
- ③ 出来るときに出来ることを頑張りたいです。

山手 さよ子さん

80代 女性

☆チャレンジ精神と物腰のやわらかさを持ち合わせた素敵な方です♪

- ① 私で出来ることがあればお手伝いさせていただきたく参加させていただきました。
- ② 手芸・編み物
- ③ 明るいおばあちゃん頑張らせていただきます。

本城 真理さん

60代 女性

☆美容のことなら何でもお任せ出来る！自宅でのカットも可能な方です

- ① 仕事を辞めて家にいたところ、知り合いに紹介してもらいました。
- ② 特にありませんが、音楽を聴いたり美味しいものを食べたりするのが好きです。
- ③ 今まで美容のことしかしてこなかったのですが、いろいろ挑戦してみたいです。よろしくお願いします。

～本城さん 初の活動にて～



活動者募集!!

年齢・資格不問

～できる人ができる事をできる時間に～

(活動費 600 円 / 時間)

訪問介護



交流会と手話講座

今回はヘルパーの慰労を兼ねた交流会（ランチ会）と手話講座を開催しました。交流会では健康のことや趣味のことなど、



食べて笑ってあっという間に時間が過ぎ、ひと時の息抜きとなりました。手話講座は、手話言語条例の目的や事業所に求められる役割について理解を深めようと企画しました。市役所の方に基礎を教えてもらった後、ろう者の方から簡単な手話を教えてもらいました。みんな何とか伝えようと必死に身振り手振りで表現していました。私たちの動作を見て読み取ってくれるろう者の方がすごい！研修後も手話を勉強したいと声が上がっていたので、手話が趣味になる人も出てきそうです。



(報告：佐々木政美)

利用者アンケート報告

昨年末に利用者アンケートを行ったところ、68 人中 48 人から回答がありました。ヘルパーに対する満足度は高く、信頼されていることが伺えます。

「訪問介護のサービス内容を理解しているか」の問いでは、ご自分が使っている内容については理解されていました。また、「頼れる方はいますか」の問いでは、ご家族の支援を受けられている方が多かったです。しかし、子どもたちにも生活があるので頼みにくいと言う方もいらっしゃいました。その他の心配事として、車の免許を返納することで生活に不安を感じるとの声も……。タクシー利用を勧められるが年金では続かないと本音を語っていただきました。訪問介護だけでは賅えない部分がたくさんあります。陽だまりクラブで対応できることがあるかもしれないので、お気軽に声をかけてください。

(報告：佐々木政美)

放課後こどもくらぶ

避難訓練

2月13日、こどもくらぶと事務所スタッフの合同避難訓練を実施しました。「火事よ。公園に避難して！」の声に、速やかにスタッフの指示に従って避難する低学年。一方、数人の高学年は余裕で寝そべてマンガを読む姿。反応は様々でしたが、3分以内には避難場所で全員の点呼を済ませることが出来ました。陽だまりの子どもたちは曜日や時間によって、習い事で出かける子もいます。どんな状況でも、子どもの把握ができるよう努めていきたいと思います。



スタッフ研修

年4回、業務終了後に研修をしています。学生と大人スタッフとの世代を超えた研修は、パンやお菓子を食べながら和やかに行われます。11月は感染症の勉強と嘔吐物の処理を実技練習、2月は利用者アンケートや次年度の利用児童の情報共有を行いました。毎回、その時々の子どもの様子を意見交換し、新たな発見、良いこと、気になることなどの情報共有を行い、関わり方を確認しています。



(報告：石井弥生)

新スタッフ紹介

学生スタッフ：塚本 瑞人 (みーくん)

☆ 北陸から来た教育学部の19歳！

- ① **スタッフになった動機**：小学校教員になるのが夢で、子どもと関わりたいと思っていたから。
- ② **趣味・特技**：スポーツが好きでよくやっています。特にバスケットとサッカーが好きです。
- ③ **ひとこと**：いつも子どもたちに癒してもらっています。よろしくお願いします！

事務局だより

福山市で運転講習

福山市高齢者支援課からの依頼で、11月17日と12月14日に、「おでかけ支援事業」の運転ボランティアを対象とした研修を福山市で開催しました。講師は市川が務め、計25人が受講しました。福山市での講習は今年で3年目です。陽だまりと仕組みは違いますが、「おでかけ支援事業」も住民が支える移動サービスです。仲間として、これからもできる限り協力していきます。



(報告：市川マヤ)

理事会では・・・

毎年2月になると次年度の事業計画を立て始めますが、ヒトとお金に限りがある中で何に重点を置くべきか・・・これが常に課題となっています。そこで、今年は思い切って社会背景、ビジョン、ミッションを一から整理し直し、ミッションを達成する事業とは何かを検討することとしました。これが陽だまりの中期計画となっています。これまでの話し合いで導かれた結論は、**陽だまりのミッションは「居場所をつくる」**でした。どんな居場所かは、「支える」「参加する」「飛び立つ」という3つのキーワードに集約されました。それは、①頼れる家族がいない人にとっては安心して生活できる居場所＝支える、②自分らしく楽しく活躍できる居場所＝参加する、③陽だまりでの経験を次のステージへ活かせる＝飛び立つ、です。具体案の策定はこれからで、**話し合いは2か月に1回のペース**で進められます。今は理事中心ですが、**どなたでも参加できます**ので、みなさんの意見をぜひお聞かせください。



(報告：市川マヤ)

助成金

「平成30年度7月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金」から4万円の助成金をいただきました。助成金は、避難訓練の実施と防災用ライトの購入費用に充てさせていただきます。

ご寄付のお礼

今年度は113の個人と団体様から合計1,051,000円のご寄付をいただいております。このうち寄付者としてカウントできるのは97人で、「年間100人×3,000円の寄付者」という認定NPO法人維持の条件まで**あと3人**となりました。ご支援、ありがとうございました。

※ 陽だまりは認定NPO法人のため、寄付者は所得税・住民税の寄付金控除が受けられません。